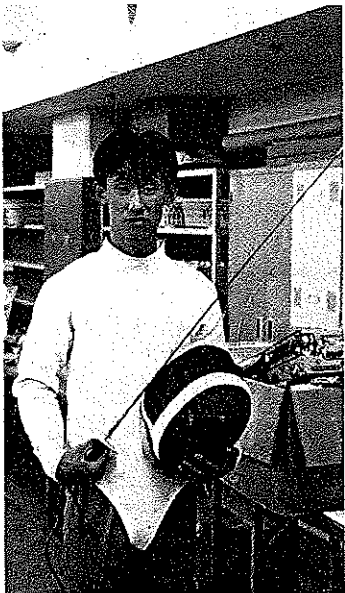


# 佐々木新人戦優勝

母校から二年連続の新人王誕生！ 関東大学新人戦（四月十一日、東京・夢の島体育館）で、今年の特選選抜入学を果たした佐々木剛（千葉・市立柏高校出身、インターハイ、エペ二位、国体優勝）写真Ⅱが、昨年の鈴木元宏（教育二）に続いて優勝した。

優勝したいと秘かに狙ってはいましたが、まさか実現するとは……というのが実感です。決勝プールに残ってからは日大の村上選手に手こずったぐらいで、あとの試合はそう苦しまないで勝てました。鈴木先輩という大きな目標があったからこそその優勝だと思えます。



個人決勝（佐々木の戦績）  
佐々木2-15村瀬（中大）  
佐々木3-15見目（専大）

- 【60年度メンバー】  
◇部長 戸谷高明  
◇監督 荻野元平
- 〔4年〕  
福田雅仁（主将、理工）  
石坂哲（副将、理工）  
帆刈寛康（主務、商）
- 〔3年〕  
三河康人（副主務、1文）  
内田真一（政経）
- 〔2年〕  
鈴木元宏（教育）  
上原正博（教育）  
山崎匡史（教育）  
富田 淳（政経）  
宇多洋一（政経）  
藤野淑恵（2文）
- 〔1年〕（別掲）

# 稲光会報

昭和60年7月1日発行  
編集 早稲田大学稲光会  
発行 北原輝久  
題字 滝口 宏  
印字 浅野印刷(有)  
第10巻第13号

- 1 ページ…一部残留決定  
2 ページ…リーグ戦詳報  
3 ページ…ジュニア世界選手権レポート  
4 ページ…60年度メンバー 新入部員紹介

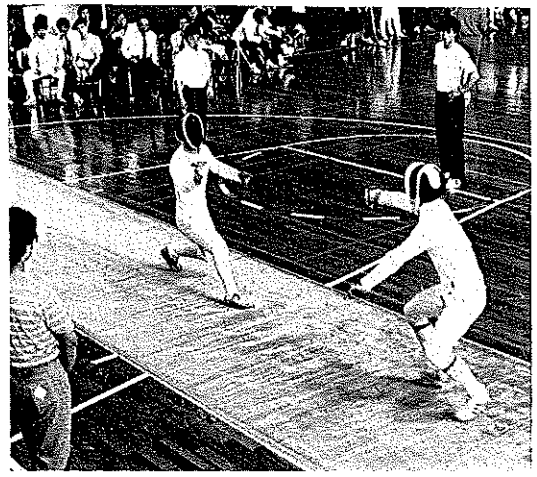
## 1・2部入替え戦 フルレで決着！

☆来季への希望も 5月29日 東京・夢の島体育館

# 日体大を寄せつけず

一部座、守った！ 関東大学リーグ戦の一部入替え戦は五月二十九日、東京・夢の島体育館で行われた。一部最下位の母校は二部優勝の日体大と初対決。フルレ九勝七敗、サーブル九勝三敗で二部校の挑戦を一蹴、来季一部での上位進出に希望をつないだ。なお、同じ日に名門明大が三部に転落する残念な結果となりました。一部入りは初見参の東農大。

昨年に続く入替え戦。でも立場は全く逆です。そして昨年の国士大とは大違い。早大は堂々一部校の実力を示して日体大につけ込む余地を一度も与えませんでした。フルレは一、二巡目



フルレ9勝7敗のあとサーブルで9勝3敗と1部残留をきめた

## 新入部員紹介

### 女性二人を含む、大量九人入部で総勢二〇人に

新入部員が大量九人。今年度は特選入学の佐々木を筆頭に、学院から三人そろって入部。本庄学院からも第一号が入りました。また一般学生も男女二人ずつ入部し、全部員は一気に二十人とふくれ上がりしました。フレッシュマンたちを紹介しましょう。(①出身高校②学部学年③生年月日、年齢④抱負)

◆佐々木剛 ①市立柏②教育、一年③四十二年三月十日生れ、十八歳④インカレの決勝に残る選手になれるよう頑張ります。

◆木村俊二 ①学院②理工、一年③四十二年一月二十八日生れ、十八歳④技術的にももちろん、精神的にも強い選手を目指します。

◆富田暁 ①学院②理工、一年③四十一年九月二十五日生れ、十八歳④フエンスィングと麻雀、共に強くなりたいのです。

◆落合祥司 ①学院②理工、一年③四十一年八月二十日生れ、十八歳④なによりも「強くなりたい」の一心で頑張ります。

◆大藤健一郎 ①本庄学院②法、一年③四十二年二月二十日生れ、十八歳④後に続く者たちのためにも、一杯頑張ります。

◆加藤重樹 ①都立両国②一文、一年③四十二年三月六日生れ、十八歳④全くの初心者、早く基本を身につけたいと思っています。

◆天野夏子 ①東京女子学院②一文、二年③四十年七月二日生れ、十九歳④「はにかめる 早春のバラの如く」

◆野元久美子 ①東京・晃華学園②一文、一年③四十年九月十九日生れ、十九歳④もし上手になれたら嬉しいと思います。

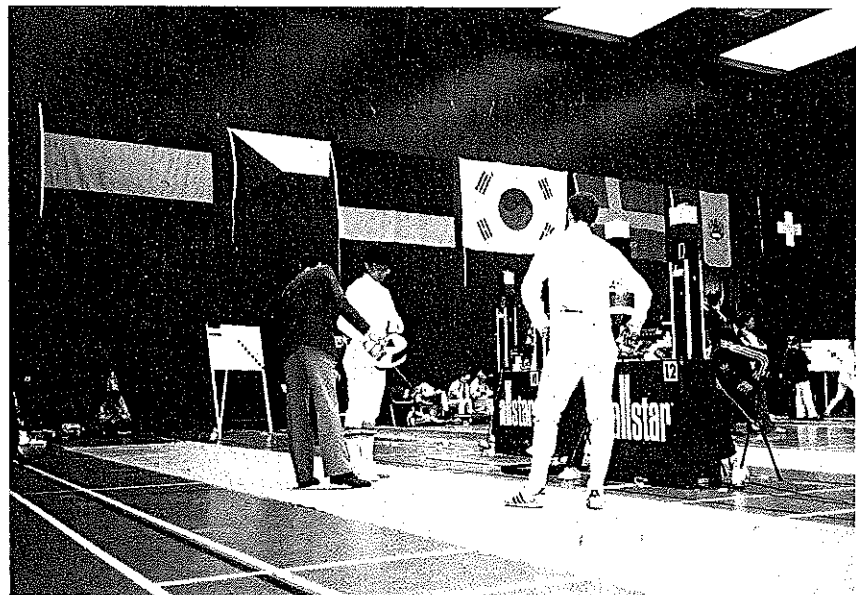
◆平川博久 ①長崎県立十村②理工、二年③四十年一月二十七日生れ、二十歳の早く先輩たちに追いつきたい気持ちで一杯です。

## 残念！ 名門・明大三部転落

- したが、これは来季リーグ戦へ向けての明るい材料といえます。
- 日体大は決して悪いチームではないのですが、入替え戦は二度目、レギュラー全員が初体験とあつてはプレッシャーの重味で動きはコチコチ、実力の半分も出せなかったのではないのでしょうか。続くサーブルでも緒戦を落とした後に5連勝。一気に勝敗を決したものです。サーブルでも内田の頑張りが印象的。これまでの消極的、受け身の姿勢が姿を消し、フットワークを使いながらじっくりチャンスをうかがう安定した試合ぶり。大きく成長したことを示していました。これも来季に向け明るい材料。来季こそは入替え戦のなりのリーグ戦にしたいものです。
- 〔監督・荻野元平〕
- 〔入替え戦成績〕  
早大2-0日体大  
▽フルレ（早大9-7）  
○鈴木 2-15原 田●  
●帆刈 5-4丸 山○  
○佐々木 3-15小 原●  
○内田 4-15谷 川●  
○鈴木 1-15丸 山●  
○佐々木 4-15原 田●  
○帆刈 5-13谷 川○
- ▽サーブル（早大9-3）  
○帆刈 4-15内 村●  
○石坂 5-14柳 瀬○  
○内田 1-15日下部●  
○鈴木 2-15谷 川●  
○帆刈 3-15柳 瀬●  
○内田 3-15内 村●  
○石坂 4-15谷 川○  
○鈴木 5-12日下部○  
○帆刈 2-15柳 瀬●  
○内田 5-13谷 川○  
○鈴木 1-15内 村●  
○石坂 3-15日下部●
- 〔二・三部入替え戦〕  
●明大 1-2東農大○  
▽フルレ  
○明大 9-7東農大●  
▽サーブル  
●明大 5-11東農大○  
●明大 5-8東農大○  
（明大は初の三部落ち、東農大は初の二部昇格）

# ジュニア世界選手権・レポート

●4月6日～9日、オランダ エペで出場した鈴木元宏選手



ジュニア世界選手権大会が四月六日～九日の四日間、オランダのアーネム市で開催され、日本から男女十二選手（一種目三人）が出場した。母校早大から鈴木元宏（教育学部一年生）がただ一人、エペ代表として参加。以下は同選手による大会レポートです。

## 勉強になった ヨーロッパ勢 の強さと技術

三月二十八日の夜、成田空港を出発し、現地へは同三十日に到着しました。アーネム市はオランダ南部、西独との国境近くにあり、酪農を中心とする農業の町でした。日本を立った時は春でしたが、こちらは緯度の関係で冬に逆戻り。寒さにふるふるの現地入りとなりました。

試合場は、町の中にあるパーペンタル体育館という大きな建物で、フロアに十二ピストが楽々セットされているのに驚ろかされました。大会前、一週間練習に励み万全を期して臨んだのですが、結果は男子フルール、サーブル、女子フルールとも二回戦で敗退。監督コーチ陣は最後のエペの奮起に期待をかけたのです。自分は一回戦でスイス、英国、コロンビアの代表に勝ち3勝2敗でバス、ところが二回戦ではわかに層が厚くなり5戦全敗。他の日

本代表は共に一回戦落ちしているのに、結局全種目を通じて二回戦の壁を破ることが出来ませんでした。一回戦で対戦したセルゲイ・コストロフ選手（ソ連）は今大会準備優勝した強豪ですが、ほんのちよっと動いただけで腕にトウシュユされるあたりさま。どう対応してよいか分からないままの敗退で、世界のレベルの高さを思い知らされたのでした。二回戦はヨーロッパ勢の争いの場となり、自分も軽くあしらわれてしまいました。悔しいけど歯が立たない、というのが実感です。

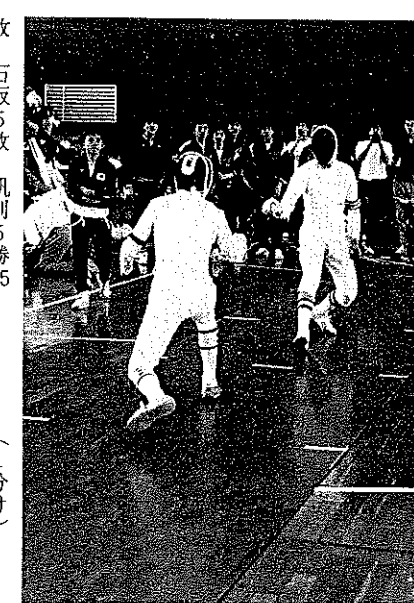
ヨーロッパ勢は、自分の長所をよく生かし、形にとらわれず独自のフェンシングを身につけているという印象を受けました。このよ



リーグ戦は一部の壁の厚さに泣く結果に終わりました。「拓大に勝って五位になる」とを合言葉に突入したり「リーグ戦。二戦目の対専大戦で終盤まで一進一退の互角勝負、あわやというところまで頑張り対拓大戦への志気を大いに燃やしたのでした。しかし、拓大も「早大に勝って五位」を目標にしているチーム。最終戦で対戦し、両校闘志を燃やして激しく流星のやりとりを展開、最終的に、一部生活に一日の長のある拓大の軍門に降ったものです。期待の鈴木、佐々木両君も、一部上級生のスピードには及ば

ず、善戦しながらも敗れるという試合が多くありました。サーブルはメンツが揃わないまま臨んだという事情があり、大きく水をあけられての全敗。エペで中大、拓大を破り何年ぶりかの一部白星を得たのですが、総合順位ではわずかに一点差で最下位となってしまいました。現在の母校は下へいくほど層が厚くなり、高校時代の経験者も多数含まれているという理想的な構成。そろってレベルアップさせればAクラス入りも不可能ではない見通しです。全国

- 〔前監督・川名宏美〕  
の会員の皆さん、なおいっそうのご声援をお願いいたします。
- 〔リーグ戦成績〕  
▽フルール（六位）  
●早大5-11日大○  
●早大7-9専大○  
●早大1-15法大○  
●早大2-14中大○  
●早大7-9拓大○
- 〔順位〕①法大5勝②日大4勝1敗③中大3勝2敗④専大2勝3敗⑤拓大1勝4敗⑥早大6敗
- 〔個人成績〕 福田1勝7敗



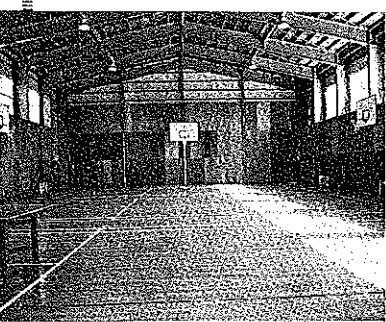
- ▽サーブル（六位）  
●早大1-15法大○  
●早大4-12専大○  
●早大3-13中大○  
●早大5-11日大○  
●早大5-11拓大○
- 〔順位〕①法大5勝②中大3勝2敗③日大3勝2敗④専大2勝3敗⑤拓大2勝3敗⑥早大5敗
- 〔個人成績〕 帆刈4勝16敗 石坂2勝17敗 内田1勝14敗 鈴木10勝10敗 富田（淳）3敗 山崎1勝2敗
- ▽エペ（五位）  
●早大4-12法大○  
●早大2-14日大○  
●早大8-7中大●
- 〔順位〕①法大5勝②中大3勝2敗③日大3勝2敗④専大2勝3敗⑤拓大2勝3敗⑥早大5敗
- 〔個人成績〕 福田7勝11敗2分け 鈴木11勝9敗 上原1勝11敗 佐々木6勝13敗1分け 富田晁1勝7敗
- 〔総合順位〕①法大②日大③中大④専大⑤拓大⑥早大
- 〔二部総合順位〕①日体大②国士館大③立大④慶大⑤青学大⑥明大
- （1分け）  
●早大5-11専大○  
○早大7-7拓大●
- （2分け）  
〔順位〕①日大5勝②専大4勝1敗③法大2勝3敗④中大2勝3敗⑤早大2勝3敗⑥拓大5敗

合宿のお知らせです。左記により、今年も夏合宿を行います。今年には有望新人が多数入部しており、部員数も急増しました。来シーズンへ向けて大いに鍛えておきたいところです。会員諸氏はふるって参加し指導して下さい。

＊ ＊ ＊

▼場所 〒三七八一〇四群馬県利根郡片品村尾瀬戸倉五九一「マルイ旅館」TEL〇二七八五八一七〇一五、七四八六。

▼交通 上越線沼田駅（上野から特急で二時間）から東武バス利用。約一時間半の戸倉下車、徒歩三分。



▼期間 九月五日～十四日まで。練習は前半が六金、七（土）、八（日）、後半が十（火）十一（水）、十二（木）の六日間です。

## 合宿案内

たない、というのが実感です。ヨーロッパ勢は、自分の長所をよく生かし、形にとらわれず独自のフェンシングを身につけているという印象を受けました。このよ

（写真は英国選手と対戦する鈴木君左）